

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

教育行政運営方針の 着実な推進

～子どもたちが運動やスポーツに親しむ機会の充実～

1 ヘルシースクール推進事業の成果

ライフスタイルは改善傾向

七中が「優秀校」受賞

健康について自ら考え行動し、望ましいライフスタイルを確立できる児童生徒を育成するため、各学校では「体力づくり」「生活リズムの確立」「食に関する指導の充実」「環境衛生の充実」の4つを柱に掲げ、健康教育を推進しています。さらに、全国に先駆けて「小児生活習慣病予防検診」「口腔検診及び味覚調査」「体力データ分析」「食育推進事業」「健康教育講演会」等を行った結果、子どもたちのライフスタイルは、年々改善傾向を示しています。

また、第七中学校が昨年度の市川小学校に引き続き「ヘルシースクール推進指定校」としての実践が高く評価され、日本学校保健会より、健康教育推進学校表彰事業「優秀校」として表彰されました。

2 児童生徒の体力の現状

年齢が上がるにしたがって上向き傾向

平成26年度実施による、小学校5年生と中学校2年生の児童生徒を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合得点は、小学校は全国平均とほぼ同レベルで、中学校は全国平均を上回りました。

全国平均を上回る種目	全国平均を上回る種目
小学校	中学校
握力(男・女)	握力(男・女)
上体起こし(女)	上体起こし(男・女)
反復横とび(女)	長座体前屈(男・女)
長座体前屈(女)	反復横とび(男・女)
全国平均を下回る種目	20mシャトルラン(男・女)
小学校	50m走(男・女)
20mシャトルラン(男・女)	立ち幅とび(男・女)
立ち幅とび(男・女)	ハンドボール投げ(女)
ソフトボール投げ(男・女)	

しかしながら、千葉県平均と比較すると、総合得点は小・中学校ともに下回る結果となりました。年齢が上がるにしたがって上向き傾向にあるものの、運動技能を必要とする種目において体力の低下がみられることから、体育の授業の更なる充実を図っています。

特に小学校では、1学期に各種目の基礎となる「走力・跳力・投力」の運動種目をしっかりと学習し、運動部活動の各種大会行事と相互に関連させながら、児童の体力向上を図っていきます。【保健体育課】



塩浜小中一貫校のお知らせ

○開校についての説明会を実施

12月7日、14日に4会場で説明会をおこないました。

【説明会の内容】

- 塩浜小中一貫校の教育の特色
- 通学が可能となる範囲および通学路と自転車通学について
- 中学1年生からの進学、および途中転入学の児童生徒への支援体制
- 塩浜小学校、塩浜中学校の学校紹介

【参加者からの質問】※抜粋

- Q.中期から教科担任制を導入するということですが、中学校の先生が教科指導をするのですか。
- Q.小中一貫校では、英語教育はどのようなになるのですか。
- Q.制服や体操服は、来年度からどのようなになるのですか。
- Q.来年度以降も、途中からの転入はできるのですか。

説明会の内容、参加者からの質問や回答、その他塩浜小中一貫校に関する内容につきましては、市川市教育委員会のホームページ「その他の情報→市川市立塩浜小中一貫校」に掲載しています。

【問い合わせ】

市川市教育委員会
教育総務部 教育政策課 政策グループ

市川の教育に貢献

氏名	役職等
植松 啓子	千葉女子専門学校講師
鈴木 和明	郷土史家、司法書士、行政書士
丸山 賢治	市川市立第六中学校 校長
平山 淳子	市川市立富貴島小学校 校長
宮田 明吉	市川市立鶴指小学校 校長
山田 佐知子	市川市立須和田の丘支援学校 校長
佐藤 洋子	市川市立八幡小学校 校長
本名 直吉	市川市立須和田の丘支援学校 事務長
松丸 信太郎	市川市立八幡小学校 学校医
原田 品子	市川市立大洲幼稚園他 学校医
八木 幹彦	市川市立妙典中学校 学校歯科医 市川市学校保健会 評議員
古山 紀行	市川市立中山小学校他 学校薬剤師 一般社団法人市川市薬剤師会 理事
森 永春美	市川市立鶴指小学校 栄養士

市川市教育功労者

千葉県学校体育功労者

市川市立若宮小学校 校長 押田 敏郎

（団体の部）
市川市立第七中学校

市川市立第八中学校 校長 佐藤 雅

市川市立大洲小学校 校長 水嶋 雅

市川市立新浜小学校 校長 木村 良人

市川市教育委員会 教育長 田中 庸恵

千葉県教育功労者

（個人の部）
市川市教育委員会 教育長 田中 庸恵

教育功労者表彰は、教育・学術または文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するものです。また、学校体育功労者は、学校体育に貢献している指導者を表彰するものです。【教育政策課・教育センター】



(敬称略)

こども作品展・新聞展



11月6日～9日の4日間、市川市文化会館にて、「平成26年度市川市こども作品展・新聞展」が開催されました。

展示された作品は、市内幼稚園の園児や小・中・特別支援学校の児童生徒が、生活や学習の中で作成したもので、**図画工作、美術、書写、技術・家庭科、新聞等**、合わせて2,463点になりました。特に今年度は、新聞部門において数多くの作品が出品され、内容も力作ばかりでした。

開催期間中は、10,140人の保護者や市民の方々にご来場いただきました。作品を前に思わず歓声を上げる子どもや、一つひとつの作品の前に立ち止まって、ゆっくりと時間をかけて味わう方も見られました。中には、この作品展・新聞展を毎年楽しみに来場されている方もいらっしゃいました。

多くの方々に市川の子どもたちの素晴らしい作品をご覧いただくことができた作品展・新聞展でした。【指導課】

市川市児童生徒音楽会

感動の響き

11月6日、7日「第69回市川市児童生徒音楽会」が、市川市文化会館にて開催されました。市内の小・中・特別支援学校56校から約4,800人の児童生徒が参加し、学年合唱やクラス合唱を中心に日頃の練習の成果を発表しました。2日間で2,700人を超える保護者や市民の方々にもご来場いただき、児童生徒の演奏に熱心に耳を傾けていただきました。

この音楽会では、昨年に引き続き、公益財団法人市川市文化振興財団の協力による招待演奏も行われており、今年は市内の小・中学校の卒業生でもあるピアニスト野上真梨子さんが、「子犬のワルツ」など子どもたちになじみ深い曲を数曲演奏してくださいました。静寂の中、華麗なピアノ演奏に聴き入っている子どもたちの姿がたいへん印象的でした。



参加した児童生徒はこの音楽会をとおして、自分たちの演奏だけではなく、他の演奏を観たり聴いたりすることで、感動を共有することができたのではないかと思います。

これからも、人と人とを信頼でつなぐ、貴重な場として大切にしていきたいと考えています。【指導課】

合同学習発表会

平成26年12月6日(土)

行徳文化ホールI&II(南部)
市川市文化会館小ホール(北部)



北部地域の発表

市内の小・中学校特別支援学級の児童生徒による合同学習発表会が、南部・北部の2か所に分かれて開催されました。この発表会は特別支援学級の児童生徒が、日頃の学習の成果を発表する場として毎年行われているもので、今年で49回目を迎えました。特別支援学級の増加を考慮し、より地域に根付いた発表会にするために、一昨年度より2か所の会場で開催されています。

南部・北部どちらの発表会も、小・中学生それぞれが、一人ひとりの個性を生かして、劇や合唱、群読などを各学級ごとに披露しました。大きなカルタを掲げて、日頃の楽しそうな学級の様子を、一人ひとりが大きな声で読み上げた小学生の音読発表では、会場が笑顔と温かな拍手で包まれました。また、中学生の力強い和太鼓の発表など、各学校で日々の学習を積み重ねてきた様子を感じられ、工夫された発表会となりました。

大きなステージでのびのびと日頃の成果を発表する児童生徒に、会場からは大きな拍手が送られました。これからもこの合同学習発表会が、特別支援教育の取り組みや、特別支援学級の子どもたちの様子について知っていただくとともに、地域で子どもたちがより良く生活していくための交流を深める機会として、広く地域の方々に親しまれる行事となることを願っています。【指導課】



南部地域の発表

心のつながいを大切にする 『社会の一員として、何が大切?』 家庭教育(連載3)

動物の世界では、仲間同士「あいさつ」ができなかったり、身勝手な行動を取ったりすると、社会から弾かれてしまいます。なぜなら、集団への帰属意識や集団の一員としての自覚に欠ける行動をとることは、命の危機を意味することになるからです。

人間の世界はここまで極端ではありませんが、社会で生活していくための最低のルールとしての躰や、基本的な生活習慣が身につけていなければ、社会の一員として認められず、社会から弾かれてしまうこともあり得るのです。

子どもも大人も社会の一員です。社会は、自分自身も含めて一人ひとりが作り上げているものですから、誰もが社会の一員としての自覚を持ち、自分や相手・物・自然のために何をすべきか考えて行動しなければなりません。そのため「三つ子の魂百まで」といわれるように、幼少期から社会性を身につけさせることが大切なのです。

各学校では、現在、社会への順応性を高め、望ましい人間関係を構築していくコミュニケーション能力の育成にも力を注いでいます。子どもたちが生活の基礎・基本やコミュニケーション能力をしっかりと身につけ、社会の立派な担い手に成長するよう、家庭、学校、地域がお互いの役割を果たしながら連携していくことが重要であると考えています。

【家庭教育指導員】

教育委員との交流会①



市川小学校

学習発表会を参観後、給食交流を行いました。「長いセリフもよく覚えていて感心しました」「すばらしい歌声に涙が出そうになりました」「聴く姿勢がよくできていました」(教育委員)

1年生と6年生の授業参観後、PTA本部役員との交流を行いました。「PTA活動だけでなく、子どもたちのためにいろいろなことに取り組みられています。ご協力に感謝いたします」(教育委員)



鬼高小学校



大野小学校

学校支援実践講座の参観と給食交流を行いました。「地域の方が子どもたちと授業の中で接するこの実践は、素晴らしいと思いました」(教育委員)



「大賞」おめでとう!

新井小学校が、中期「遊・友スポーツランキングちば大賞」を受賞しました。

「いきいきちばっ子コンテスト『遊・友スポーツランキングちば』」は、千葉県教育委員会が児童生徒の体力向上と社会性の育成を目的として実施しているもので、新井小学校は中期(7月~11月)に参加した県内138校のうち、最も積極的にコンテストに取り組んだことから本賞の受賞となりました。

新井小



~遊・友スポーツランキングちば~



授与式は12月12日に新井小学校の会議室で行われ、6年生の代表児童13名が参加しました。梅木弘之 県教育次長から、6年生の原田大輝君に賞状が授与され、児童を代表して三宅千鶴さんが、「練習の仕方を考えるだけでなく、心一つにして取り組みました。一生懸命取り組むことの楽しさを学びました」とお礼の言葉を述べました。また、宮本真衣さんは、「練習中は大変なこともあったけど、みんなで気持ちを一つにして取り組みました」。白川椰斗君は、「楽しく取り組みました。仲間との絆が深まりました」と話し、受賞を喜んでいました。【教育センター】

学習支援クラブ =地域の先生=

地域とともに子どもたちを育む「学習支援クラブ」。今回は、稲越小学校をご紹介します。

市川市の北部に位置する稲越小学校は、児童数162名。全校児童と教職員の名前をすべて覚えると「ともだちいっぱい名人」の称号がもらえるという、アットホームな学校です。



稲越小学校学習支援クラブには、地域の教育力を生かした取り組みが数々あります。「稲作名人」の方々から学ぶ本格的な米作り。「梨の先生」の指導による、交配から剪定まで1年を通じた梨づくり体験。写真家協会の方が教える、工夫して表現する楽しさを学ぶ写真教室。水泳の専門家による、水難事故に備える全校着衣水泳。その他「地域の先生」から、たくさんの本物に触れる体験をさせていただいています。

さらに、学校と地域を結ぶ行事「ひばりまつり」があります。「地域の先生」をはじめ、日頃から子どもたちの活動を支えてくださっているの方々をお招きし、異年齢集団「ほかほかグループ」による創作劇を披露しました。子どもたちは今まで身につけてきたコミュニケーション能力で、お話の世界を精一杯表現していました。

地域みんなで、成長した子どもたちの姿を感じる一日になりました。【指導課】



PTA理事会に参加後、PTAの方々との交流会を行いました。「PTAの組織がしっかりできています」「これだけの行事を、PTAの皆さんが一生懸命に行っているのがわかりました」(教育委員)



南行徳小学校

教育委員との交流会②



大町小学校

さつまいもパーティーの準備と英語集会のリハーサルを参観後、給食交流を行いました。「6年生の優しさをたくさん感じました。学年の交流によって子どもたちが育っていますね」(教育委員)

【教育センター】

米っ人くらぶ



「収穫感謝祭」を開催しました!

「市川米っ人くらぶ」の収穫感謝祭が、11月8日に少年自然の家で盛大に開催されました。当日は約130名もの参加者が集まり、今年収穫したお米でお雑煮やきな粉餅、カレーライスなどを作り、皆で収穫の喜びを分かち合いました。薪で炊いたご飯やつくきたてのお餅の味は格別だったようです。

「市川米っ人くらぶ」は、市内在住の子どもと保護者を対象に行われている稲作体験事業の通称です。自然や人とふれあい、勤労と収穫の喜びを体験することにより、親子の情愛を深め、心豊かな子どもたちを育てていくことを目的に平成13年からスタートした事業です。田植えや稲刈りだけでなく、代掻きや案山子作り、おだ作りなど、稲作に関する様々な作業を体験できるのが特徴です。

活動期間は、4月から9月までの半年間で、毎月2回程度、土曜日の午前中に作業をしています。参加者募集については、2月に市の広報で行う予定です。

【生涯学習振興課】



おめでとう157名の受講生!

はばたけ! 未来の青少年リーダーへ

『地域の青少年リーダーの育成、子どもの健全育成』を目的とし、市川市教育委員会と市川市子ども会育成会連絡協議会で開催している講習会「わんぱくセミナー」「ジュニアリーダー講習会」「ヤングカルチャースクール」は総勢157名の受講生が参加し、11月に閉講しました。

わんぱくセミナーは小学5・6年生を対象とし、あそびや野外活動を中心に集団行動・生活の基本を身につける初級講座、ジュニアリーダー講習会は中学生を対象とし、グループワーク・野外活動を中心にリーダーシップ力を向上させる中級講座、ヤングカルチャースクールは高校生を対象とし、小・中学生と共に活動する中で青少年リーダーとしての心構えや責任感といった心を育て、さらに指導技術も磨いていく上級講座です。

初めて顔を合わせた受講生たちも、一年間いろいろな活動で共に過ごすうちに、皆良き仲間となりました。受講生の感想からは、「コミュニケーションや協力することの大切さを学びました」「自分を変えてくれたのは、ジュニアリーダー講習会のおかげだと思っています」「今までは指導される側でしたが、今年からは指導する側になり、上に立つ事の大変さを学びました」など、講習会を通じて自分自身の成長を実感するコメントがたくさんありました。

魅力のある体験を通して、受講生が自分自身で感じ、考え、学び、成長できるような講習会をこれからも実施していきます。【青少年育成課】



わんぱくセミナー



ジュニアリーダー講習会
ヤングカルチャースクール受講生

国分小学校

新しい校舎が完成!

第四中学校

フ ローリングの床や、木製建具の出入り口。木のぬくもりを感じる空間

普 通教室は、採光・通風を考慮した平面計画

南 向きに配置された普通教室

周 辺への日照・騒音にも配慮した配置計画

プレイルーム

理科室

普通教室後面

東面外観

国分小学校と第四中学校の校舎が完成し、9月にオープンしました。

ユ ニバーサルデザインによる施設づくりや、シックハウス対策等、室内環境にも配慮した施設

高 機能で多機能な学習環境

自 然エネルギーを活用した、省工ネ・省資源型の施設

耐 震性能の確保と大震災時の避難所としての活動を踏まえた施設

階段室(吹き抜け)

理科室

屋上太陽光パネル

北面外観

【教育センター】

学校支援でまちづくり

~「学校支援コーディネーター」活躍中!~
 学校教育活動の支援(以下学校支援)のため、学校と地域支援者のつなぎ役を務めるのが「学校支援コーディネーター(以下CN)」です。



昨年度、20校に配置して新たに始まったこの取組ですが、今年度は30校で35名のCNが活躍しています。今回は菅野小学校の取組について紹介します。

「学校支援で地域活性化を ~菅野小CN~」

CNの山口さんは、コミュニティサポート委員会に参加すると共に、非常勤職員としても菅野小学校に勤務されています。地域に顔が広く、先生方や学校組織についてもよく理解しているCNです。



CNとしての思い
 CNの山口さんは「学校支援は、本当に“三方(さんぼう)よし”(子ども《学校》・住民・地域コミュニティ)の活動」「CNとしての私の仕事は、菅野小学校の子どもたちのことを大事に思ってくれている地域の人と学校を結びつけること」だと話していました。子どもたちと一緒に清掃や花植えの活動には、多くの地域の方々が集まり、子どもたちとの触れ合いを楽しんでいるそうです。

このように、地域活性化の視点をもったCNが学校と連携し、様々な活動を展開しています。皆さんの地域の取組について知りたい、地域ボランティアとして参加したいという方は、生涯学習振興課までお問い合わせください。【生涯学習振興課】383-9386

~子どもにかかわる相談は、ここでできます~

- 少年相談(少年センター) 対象:小学1年生~20歳未満
 家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談
 TEL320-3340 月~金(9:00~17:00 ※木のみ19:00)
 eメール相談 youngnet@city.ichikawa.chiba.jp
- 教育相談(教育センター) 対象:3歳~中学3年生
 子育てや教育に関する様々な悩みに関しての面接相談
 予約TEL320-3336 火~土(9:00~17:00)
- ほっとホッと訪問相談(教育センター) 対象:小学1年生
 主に不登校についての電話・訪問相談 ~中学3年生
 TEL320-3362 火~金(12:30~17:00)

学校巡回展(考古・歴史博)

考古・歴史博物館では、市内の小学校や中学校に博物館の収蔵品の一部を使って、学校巡回展を行っています。



中学校での展示

考古博物館では、「教科書に掲載された市川出土の縄文土器」をテーマに今年度は4つの中学校での展示を行いました。この展示は、現在中学校で使われている歴史の教科書に掲載されている、中国分三丁目から出土した土器の実物資料などの展示を行いました。また学校の依頼によっては、展示解説や土器などを使った出張授業も行いました。

歴史博物館では、「市川市域の空襲について」をテーマに、市川市域における空襲被害の写真や、2000年に原木の日枝神社の敷地内から発見された不発の焼夷弾などの資料展示を行いました。この展示は、社会科だけでなく国語科の戦争について書かれている物語とも関連した内容のため、多くの学年の子どもたちに見てもらうことができました。

このような巡回展示を通して、自分たちの学区や市内の歴史への関心を高めてもらうことをねらいとしています。

さらに、市川の歴史について知りたくなりましたら、市川考古博物館、市川歴史博物館までお出ください。【考古・歴史博物館】

辻切り展(考古・歴史博)

歴史博物館では、季節の展示「冬 辻切り」を開催しています。辻切りとは、人々に害を与える悪霊や疫病が村に侵入するのを防ぐために、村の出入口にある四隅の辻に、町内安全の木札やわらで作った大蛇、大ぞうりやわらの人形などをまつてまじないをするものを言います。国府台の辻切りは市川市の無形民俗文化財にも指定されています。

戦前に、市川市内の各地に見られたこの行事も、現在は国府台や堀之内など一部の地域のみでの行事となってしまいました。

今年は、現在では行われなくなった地域の辻切りの写真なども展示しています。また、毎年堀之内自治会のみなさまに作成していただく大蛇も展示しています。この大蛇は、歴史博物館1Fの常設展示室に来年の大蛇作成まで展示される予定です。

みなさまのお越しをお待ちしています! 【考古・歴史博物館】

~ 季節の展示「冬 辻切り」 ~

日時:平成27年1月20日(火)
 ~2月22日(日)
 場所:歴史博物館1F 常設展示室



現在では行われなくなった根本の辻切り